

ぼくは、この授業を受けて思ったことは、早稲田大学防災教育支援会の人たちの写真を見て、「みんな頭よさそうだな」と思いました。WASENDのようなものもかっこいいと思えて、インドネシアに行って授業をしたのだから、他の国で授業をできるかも知れないな。とふと思ったりもします。インドネシアではスマトラ島沖地震が起こって、人々が16万4000人行方不明や死んでしまったりして悲しいことばかり起こってしまいます。ぼくだって少

しくらいの苦しみは分かります。ぼくは阪神淡路大震災が起こった時に、地震で祖母を失いました。地震はどのように起こるかについての時に、地球の構造は、卵と同じということに驚きました。プレートは卵のカラで、地球の核は卵の黄身。確かに、地球との構造にそっくりです。表現では地球のプレートとプレートがぶつかって地震が起こる。卵では、卵のカラとカラがぶつかって起こるようになるから、全

く構造が同じなのが驚きました。
最後に、地震や津波による対策をするために
対策をよく知らないインドネシアに約9時間
飛んで、地震や津波による被害を減らそうと
するところが何よりも印象的でした。